

斎賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 斎賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< 2025年02月 >>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

最近の記事

(02/07)鳥インフルエンザ
(H5N1) の人感染
(02/06)鳥インフルエンザに季節
性のワクチンは有効か？
(02/04)鳥インフルエンザの予備
知識
(02/01)アレルギー性鼻炎の鼻腔
内治療と経口治療の比較
(01/31)エビペンの劣化について

最近のコメント

鉄欠乏性貧血における鉄剤の服用
by (09/13)
23価肺炎球菌ワクチンの局所反応
by (07/11)
急性心不全のラシックスの効果減
弱 by (06/10)
小児の腸重積・ロタウイルスワク
チンとの関係について by (05/02)
Ⅱ型糖尿病患者にスルホニル尿素
薬の有効性について by (04/19)

タグクラウド

カテゴリ

小児科(263)
循環器(321)
消化器・P P I(187)
感染症・衛生(333)
糖尿病(162)
喘息・呼吸器・アレルギー(125)
インフルエンザ(119)
肝臓・肝炎(67)
薬・抗生剤・サプリメント・栄養
指導(58)
脳・神経・精神・睡眠障害(76)
整形外科・痛風・高尿酸血症(45)

<< 頸動脈の内膜中膜肥厚（MIT）は前糖尿病の予後因子 | TOP | 早期慢性膵炎について >>

2024年06月04日

オゼンピックは心不全の利尿薬の使用を削減する

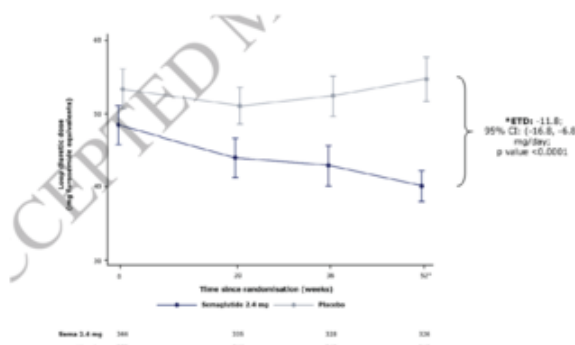
オゼンピックは心不全の利尿薬の使用を削減する

Semaglutide and Diuretic Use in Obesity-1 Related Heart Failure
With Preserved Ejection Fraction: A Pooled Analysis of the STEP-HFpEF
And STEP-HFpEF-DM trials



心不全の基本治療の一つは利尿薬です。
利尿薬は心不全の重症度により増加しますが、腎機能の悪化や電解質異常が起きてしまいます。
特に肥満傾向の患者では利尿薬の用量は多くなる傾向ですが、その効果は減弱します。
今回、STEP-HFpEF研究の論文が出ています。
糖尿病治療薬のオゼンピックが肥満傾向で軽症の心不全（HF p EF）に対して、利尿薬の使用を削減できるかを調べています。

- 心機能の収縮率が保たれている心不全（HF p EF）で、BMIが30以上の肥満患者1,145人を対象にしています。
週一回注射のオゼンピック2.4mg群とプラセボ群を、52週にわたり調べています。
ベースラインのループ利尿薬の違いと、52週でのループ利尿薬の変化が転帰です。
ベースラインとして利尿薬が処方されていない220人、ループ利尿薬以外の利尿薬が処方されている223人、ループ利尿薬40mg以下の219人、ループ利尿薬40mgの309人、ループ利尿薬40mg以上の174名が調べています。
- 全ての利尿薬使用例において、オゼンピックは体重減少の効果が起きています。
-8.8%から-6.9%の効果でした。
身体機能として6分間の歩行距離もオゼンピックは効果がありました。
52週においてループ利尿薬はオゼンピックが17%削減に対してプラセボ2.4%の増加でした。 オッズ比は2.67です。

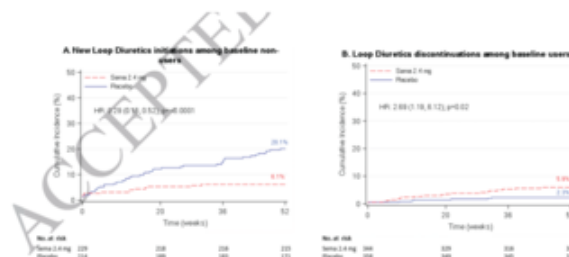
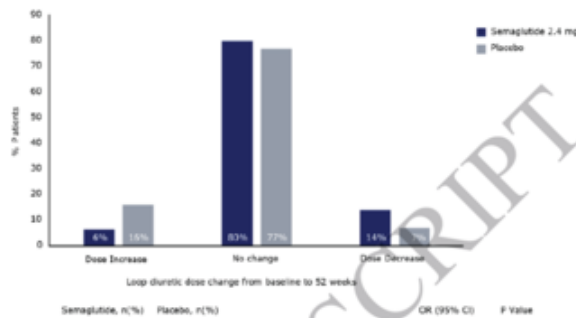


ワクチン(99)
癌関係(14)
脂質異常(31)
甲状腺・内分泌(22)
婦人科(20)
泌尿器・腎臓・前立腺(65)
熱中症(7)
日記(31)
その他(103)

過去ログ

2025年02月(4)
2025年01月(16)
2024年12月(14)
2024年11月(12)
2024年10月(13)
2024年09月(14)
2024年08月(12)
2024年07月(15)
2024年06月(14)
2024年05月(14)
2024年04月(12)
2024年03月(14)
2024年02月(13)
2024年01月(19)
2023年12月(17)
2023年11月(13)
2023年10月(15)
2023年09月(12)
2023年08月(16)
2023年07月(15)
2023年06月(14)
2023年05月(15)
2023年04月(15)
2023年03月(15)
2023年02月(14)
2023年01月(15)
2022年12月(12)
2022年11月(16)
2022年10月(15)
2022年09月(13)
2022年08月(17)
2022年07月(13)
2022年06月(15)
2022年05月(15)
2022年04月(14)
2022年03月(15)
2022年02月(14)
2022年01月(16)
2021年12月(14)
2021年11月(17)
2021年10月(17)
2021年09月(13)
2021年08月(16)
2021年07月(12)
2021年06月(16)
2021年05月(16)
2021年04月(14)
2021年03月(18)
2021年02月(19)
2021年01月(16)

以降はカテゴリーで検索してください。



3) 考察

オゼンピックは心不全症状と身体機能の改善が見られました。
ループ利尿薬の処方量を20%削減しています。オッズ比では2倍削減です。
オゼンピックはループ利尿薬の初期量を削減できますし、ベースラインでのループ利尿薬の休薬も可能です。
肥満のHFpEF患者にはSGLT2阻害薬、MRAs、高用量の利尿薬が適応ですが、オゼンピックも選択肢の一つとして良い薬剤です。
特に肥満患者では利尿薬の効果が低下しています。
本試験では重篤な心不全患者は最初より除外されています。
軽度の心不全ではオゼンピックは効果があり忍容性も優れていました。
(作用機序に関しては割愛)

私見)

ようやく本院でもオゼンピックの処方が可能となつてまいりました。
当然ながら糖尿病患者さんが対象となります。

[HFpEF オゼンピック 利尿剤.pdf](#)

[オゼンピック皮下注 2 mg を正しく使うために.pdf](#)

0

1

いいね！

ポスト

 ブックマーク

【糖尿病の最新記事】

[糖尿病治療薬・補足説明](#)

[糖尿病の薬物療法・2025](#)

[チョコレートと糖尿病との関係](#)

[週1回注射のインスリン・エフシトラ](#)

[肥満治療と糖尿病予防のためのマンジェロ](#)

posted by 斎賀一 at 18:39 | [糖尿病](#)

